

授業科目	疾病・治療論V (運動・感覚)	開講年次	単位	時間	必修	講師	実務経験
		2年次	1	30		安井 啓悟 松尾 健士 吉岡 巖 本間 豊大	
授業概要	日常生活を支える運動器と感覚器に関する疾病の成り立ちと診断・治療の要点を学ぶ。 I. 骨関節系疾患の病態生理と症状、検査、治療・処置 II. 感覚器系疾患の病態生理と症状、検査、治療・処置						
回数	授業計画・授業内容						授業方法
1	I. 骨・関節・筋系						講義
2	骨の機能と構造・症状と病態生理診断、検査と治療・処置						
3	骨折、脱臼						
4	脊椎損傷、骨・関節の炎症性疾患、骨腫瘍						
5	軟部腫瘍、代謝性骨疾患、筋・腱の疾患、神経疾患						
6	II. 感覚器系 (眼)						
	眼の構造・視路・眼球運動						
	検査と治療：眼底検査・眼圧検査						
7	疾患の理解：機能の障害						
	部位別の疾患：眼瞼・結膜・角膜など						
8	眼底の疾患、水晶体の疾患						
	緑内障および手術療法、網膜剥離						
9	III. 感覚器系 (耳・鼻・咽喉)						
	耳・鼻の構造と機能、症状						
10	聴力検査・平衡機能検査						
11	外耳疾患・内耳疾患、舌・顔神経						
12	ウェグナー肉芽腫・副鼻腔炎、咽頭疾患・喉頭疾患・甲状腺疾患						
13	IV. 形成外科領域						
	皮膚の構造・外傷・熱傷						
	良性の皮膚腫瘍・痣・悪性黒色腫						
14	褥瘡						
15	試験						
テキスト	成人看護学[10]運動器／医学書院 成人看護学[14]耳鼻咽喉／医学書院 臨床外科看護各論／医学書院 成人看護学[13]眼／医学書院 成人看護学[12]皮膚／医学書院						
評価方法	筆記試験						
先修条件	なし						